

まちの話題

地場産のおいしさを再確認～ふるかわ産直厨房～

2月12日、古川地域認定農業者連絡協議会が主催する「ふるかわ産直厨房」がメインホール「コンサート」がアインパル浦島を会場に開催され、古川産の食材を使った料理と音楽を楽しみました。今年で7回目を迎える産直厨房。毎年とても好評で、チケットの入手が困難なほど。今年も参加した人たちはぜひおいしくおいしく楽しみたいとおっしゃっていました。



丹精込めて育てた食材はとてもおいしいですね。

永年の活動が表彰されました～全国子ども会育成会連合会より表彰～

22年の長いあいだ、子ども会の指導育成に尽力したとして、大崎管内子ども会育成会連合会会長（公平弘司さん）が、2月13日に広島市で開催された子ども会育成会全国大会で表彰されました。また、夫人も永年の協力が認められ感謝状が贈られました。公平さんは現在も地域全体で取り組む青少年健全育成を推進しています。



お二人での受賞、おめでとうございます。

寒い冬のあたたかなイベント～2009スノーランタンフェスタ in 中山平～

2月7日、中山平温泉で恒例の「スノーランタンフェスタ」が開催されました。参加した皆さんがそれぞれの創造性を発揮して作った個性あふれる雪のオブジェに、蜜ろうで作ったろうそくを入れて明かりを灯すと、まるでおとぎの国のような幻想的な風景が広がりました。寒い冬の夜に、あたたかい気持ちになるイベントです。



そこはまるでおとぎの世界。

催し 第2回 フランク永井 歌コンクールが開催されます

松山出身の昭和のスター・フランク永井さんの名曲を歌い継ぎ、まちづくりに生かそうと、松山まちづくり協議会教育文化部により企画された「フランク永井 歌コンクール」。昨年初の開催で好評を得たこのコンクールを今年も開催します。すばらしい名曲の数々と、全国から集まった出場者の自慢の歌声を堪能しませんか。皆様のご来場をお待ちしています。

■本選決勝大会  
日時▶ 3月22日(日) 12時30分～  
会場▶ 松山体育館  
入場料▶ 前売り券 1,000円 当日券 1,200円  
※入場券はフランク永井 歌コンクール実行委員会事務局(自在窯&ギャラリー内)、松山公民館、レコードショップセブンで販売。

■予選会  
日時▶ 3月20日(金・春分の日) 21日(土) 10時30分～  
会場▶ 松山体育館  
入場料▶ 無料  
問 フランク永井 歌コンクール実行委員会事務局(自在窯&ギャラリー内) ☎ 55-3735



催し 自然の恵みに生かされて～郷土おおさき・岩出山と松山を結ぶ～ 櫻田勝子・日本画展

日本画家 櫻田勝子氏は、旧岩出山町生まれ、現在は大崎市松山に在住し、「河北美術展招待作家」「日本美術院院友」として意欲的に制作活動に励んでいます。自然を愛し、自然と共に生きる感動を絵に託し、その作品は見る人を自然の息吹の中にいざないます。繊細な描写と大胆な表現の作品の数々を紹介します。

日時▶ 3月13日(金)～15日(日) 10時～16時 ※13日(金)10時：開場式  
場所▶ スコーレハウス(岩出山公民館)2階研修室  
入場料▶ 無料



「ぶなの樹」 昭和63年第52回河北美術展河北賞受賞作品

問 岩出山公民館 ☎ 72-0357

催し 宮城大学・大崎市連携協定2周年記念 連携協定覚書調印式・特別記念講演会

大崎市の地域活性化と宮城大学における教育研究活動などの振興を図ることを目的に、平成19年3月22日に「宮城大学と大崎市の連携協力に関する協定書」を締結以来、さまざまな連携協力事業を実施してきました。今回、協定書に基づき、2年ごとに更新する「覚書調印」にあたり、これまでの活動成果の報告と特別記念講演を開催します。皆様の参加をお待ちしています。



平成19年の調印式

日時▶ 3月13日(金) 14時～  
場所▶ 大崎生涯学習センター(パレットおおさき)多目的ホール  
内容▶ 【第1部】連携協定覚書調印式  
【第2部】特別記念講演  
演題「産学官連携の実際」～農畜水産物の地産地消を目指して～  
講師 宮城大学食産業学部教授 西川 正純 氏

問 政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

催し

男女共同参画推進事業 トークコンサート

日時▶ 3月14日(土) 午後1時30分開場 午後2時開演  
会場▶ 大崎市民会館  
入場料▶ 無料(入場整理券が必要です。市役所まちづくり推進課男女共同参画推進室、各総合支所、各区公民館で配布しています。)  
内容▶ テーマ 言葉が繋ぐ女と男  
出演▶ ESPERANZA(エスペランザ)  
問 まちづくり推進課男女共同参画推進室 ☎ 23-5069

ESPERANZA (エスペランザ) プロフィール

2001年7月、フジテレビ奇跡体験アンビリバボーに、「クローン病(厚生労働省難病指定)」との闘病と再発を描いた「愛という名の奇跡」が放映される。それを機に、奥田良子(フルート&オカリナ)と、心身を支え続けた夫である奥田勝彦(ベーシスト)で結成。挫折から社会復帰に至るまでの「出会い」「励まし」「自分ひとりで生きているのではないこと」など、自分の経験をコンサートの中で語り、その経験談は多くの年代の共感を呼び、夢と希望を贈り続けています。



演奏曲目(予定) 千の風になって、情熱大陸、涙そうそう、G線上のアリア ほか

市長コラム 天・地・人



今、グリーン・ニューディール政策が期待を込めて注目されており、元祖ニューディール政策は七十六年前、世界大恐慌からの脱却を目指して、ルーズベルト米大統領がとった内需拡大の大型公共事業政策です。オバマ新大統領は、環境対策のグリーンを冠に、産業のグリーン化やクリーンエネルギーの普及拡大など環境に配慮した新産業の振興により雇用に創出し、百年に一度とも言われる経済不況からの脱却と地域温暖化対策という地球的規模の二大課題を解決しようとする政策を打ち出しました。

この政策は世界中に広がりつつあり、我が国でも総理の指示で日本版グリーン・ニューディールを策定中です。私もこの政策に非常に興味を持ちました。市内に大崎版グリーン・ニューディール政策に関する研究会を立ち上げ、持続可能なグリーン産業や雇用の創出の検討を進めています。二十一世紀は、食・健康(命)・環境の時代です。食・健康・環境は、大崎にお任せください！

本市は、豊かな森林や広大な水田、日本の原風景を代表する里山、温泉番付東の横綱に認定された温泉資源、渡り鳥に選ばれた自然環境の楽園、多様な生物の生息など、まさにグリーン産業の可能性に満ち溢れた宝の都(くに)です。

今、環境保全型農業、市民の森づくり事業、グリーンツーリズム、バイオマスライオン構想、ラムサール特化を進めています。大崎の宝を活かし、産業の活性化と新たな要素の創出を秘めた、大崎版グリーン・ニューディールのブランドデザインを、一緒に描き実践したいと思っています。

大崎市長 伊藤 康志